『児童発達支援自己点検及び評価シート』

作成日：平成 30 年 5 月 26 日

事業所名：運動発達支援スタジオ笑みりい～深井

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	・訓練室 59 m ² を確保・相談室 4.1 m ² ・療養室兼更衣室として 1.67 m ²
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	・あいサポートリーダー研修 H30 年度受講予定 ・社会福祉士 2 名 ・教員（児童指導員） 1 名 ・保育士 1 名 ・介護福祉士 1 名 ・児発菅 1 名
	③送迎体制・添乗員の確保	・親子通所の為、基本送迎は、ありませんが妊娠中など送迎できない場合は、ご相談させていただきます。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	・トイレに子供用便座・洗面台の踏み台を設置しています。
	⑤職員の健康診断の実施	3 月に実施（年 1 回必ず）
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	4 月 1 日 OPEN したばかりなので、ご家族様も回答しずらかったと思います。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	4 月、事故予防・倫理に関する知識と理解 5 月、虐待防止研修・子どもたちの支援のあり方等 毎月色々な研修に参加し、職員間で情報共有しています。
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による児童発達支援計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画書の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	・子ども達の成長にあった個別支援計画書を作成するためにしっかりとアセスメントし利用児の希望・ご家族様のニーズをくみ取る。 ・原案→ケース会議→本案→ご家族様への説明及び交付 ・6 ヶ月に一回 ・6 ヶ月未満であっても必要に応じて見直し作成します。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	・6 ヶ月に一回・6 ヶ月未満であっても必要に応じてモニタリングをし個別支援計画書の見直しをしていきます。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	・『運動療育』を中心とした『運動』・『生活能力』の療育特化型プログラムを提供・個別支援計画に基づいて行っております。
	④ミーティング等の実施	・朝・終礼時や必要な場合は、空いてる時間等に実施 ・毎週土曜日に 17:00～18:00 実施

	⑤支援内容の記録	・個人記録を作成し個別支援計画書に沿った内容であるか連絡帳にも記入しご家族様と共有しています。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	・開設したばかりですが、積極的に参加していきたく思います。上限管理等でお世話になる他事業所での活動の様子等を伺ったりしています。
	②認定こども園・幼稚園・保育園、保健センター等との連携	・通園されている園と連絡を取り情報共有しています。
	③他の児童発達支援事業所、児童発達支援センター、障害福祉サービス事業所等との連携	・利用されている他事業所と連絡を取り情報共有しています。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制	・該当する方は、いらっしゃいません。
	⑤就学する際の移行支援（学校との引継ぎ・情報共有等）	
	⑥「あい・ふあいる」の活用	・今後、活用していきたいと思っています。
5 保護者への説明責任等	①運営規定、支援内容、利用者負担の説明	・支援内容やカリキュラム等は、見学・体験時に説明を行いご納得いただいで契約を進めています。契約時にも、運営規定・支援内容・利用者負担等も説明をしています。
	②保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	・相談を受けた職員は、事業所に持ち帰り職員全体で共有し話し合っ、ご家族様に返答するようにしています。

	③会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	・HP作成中（6月開設予定）
	④日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	・親子通所の為、終了時にご家族様とも共有しています。必要に応じて、電話で相談・報告も行っています。
	⑤おやつ代等実費徴収している費用にかかる領収書の発行、精算報告	該当なし
	⑥身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	現在、該当する利用者は、いませんが必要を感じた場合は、ご家族様へ相談後、支援計画書に記載し同意書にご記入いただいた上で実施・経過・記録する。
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、事故対応マニュアルの整備と職員への周知	マニュアル作成し研修・定期的に周知しています。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	・7月4週目、10月4週目に避難訓練を実施する予定です。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	・事案等を書面に記録し朝礼・終礼に職員間で話し合い事故防止を図ります。
7 その他	①地域との交流	・現在90分の療育プログラムを実施しています。今後検討予定。

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日 平成30年5月26日

事業所名：運動発達支援スタジオ笑みりい～深井

		現在の取組内容・今後の改善目標（内容）
1 環境・ 体制整備	①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保	・訓練室 59㎡を確保・相談室 4.1㎡ ・療養室兼更衣室として 1.67㎡
	②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダーの配置の有無	・社会福祉士 2名 ・教員（児童指導員） 1名 ・保育士 1名 ・介護福祉士 1名 ・児発菅 1名 ・あいサポートリーダー研修 H30 年度受講予定
	③送迎体制・添乗員の確保	原則、添乗員を同乗させ、安全な送迎を行っています。
	④合理的配慮の視点に基づく環境整備	訓練室は、フラットになっています。玄関や段差がある所には、赤いテープで段差がわかるようにしています。
	⑤職員の健康診断の実施	3月に実施しました。（年1回必ず）
2 業務改善	①アンケート等による利用児・保護者のニーズの把握とフィードバック	4月1日 OPEN したばかりなので、ご家族様も回答しずらかったと思います。
	②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 （障害児通所支援事業者育成事業利用の有無）	4月、事故予防・倫理に関する知識と理解 5月、虐待防止研修・子どもたちの支援のあり方等 毎月色々な研修に参加し、職員間で情報共有しています。
3 適切な支援の提供	①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成（アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付）	・子ども達の成長にあった個別支援計画書を作成するためにしっかりとアセスメントし利用児の希望・ご家族様のニーズをくみ取る。 ・原案→ケース会議→本案→ご家族様への説明及び交付 ・6ヶ月に一回 ・6ヶ月未満であっても必要に応じて見直し作成します。
	②モニタリングの実施、計画の見直し	・6ヶ月に一回・6ヶ月未満であっても必要に応じてモニタリングをし個別支援計画書の見直しをしていきます。
	③個別の課題に対応した活動内容・プログラム	・『運動療育』を中心とした『運動』・『生活能力』の療育特化型プログラムを提供・個別支援計画に基づいて行っております。
	④ミーティング等の実施	・朝・終礼時や必要な場合は、空いてる時間等に実施 ・毎週土曜日に 17:00～18:00 実施

	⑤支援内容の記録	・個人記録を作成し個別支援計画書に沿った内容であるか連絡帳にも記入しご家族様と共有しています。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	・開設したばかりですが、積極的に参加していきたく思います。上限管理等でお世話になる他事業所での活動の様子等を伺ったりしています。
	②学校との連携	事前に、送迎場所の確認や時間等の打ち合わせをしたり学校での様子を教えていただいたり、日頃の対応等も職員間で共有しています。
	③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携	他事業所の集まりに参加するようにしています。 工夫している点など参考に職員間で話し合い事業に生かせるように努めています。
	④（特に医療的ケアを必要とする利用児について）主治医等との連携・連絡体制	該当する方は、いらっしゃいません。
	⑤学校を卒業する際の就労移行支援（引継ぎ等）、就学前施設との連携（情報共有・引継ぎ等）	まだ、該当する方は、いらっしゃいません。
	⑥「あい・ふあいる」の活用	・今後、活用していきたいと思います。
5 保護者への説明責任等	①運営規定、支援内容、利用者負担の説明	支援内容やカリキュラム等は、見学・体験時に説明を行いご納得いただいて契約を進めています。 契約時にも、運営規定・支援内容・利用者負担等も説明をしています。
	②保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	・相談を受けた職員は、事業所に持ち帰り職員全体で共有し話し合っ、ご家族様に返答するようにしています。

	③会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	・HP作成中（6月開設予定）
	④日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	・連絡帳でのやり取りや送迎時には、利用時の様子を報告 必要時は、電話で相談・報告を行っています。
	⑤おやつ代等実費徴収している費用にかかる領収書の発行、精算報告	該当なし
	⑥身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載	・現在、該当する利用者は、いませんが必要を感じた場合は、ご家族様へ相談後、支援計画書に記載し同意書にご記入いただいた上で実施・経過・記録する。
6 非常時の対応	①緊急時対応マニュアル、感染症マニュアル、事故対応マニュアルの整備と職員への周知	マニュアル作成し研修・定期的に周知しています。
	②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施	・7月4週目、10月4週目に避難訓練を実施する予定です。
	③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有	・事案等を書面で記録し朝礼・終礼等に職員間で話し合い事故防止を図ります。
7 その他	① 地域との交流	・現在90分の療育プログラムを実施しています。 今後 検討予定。